



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成31年 2月27日 14:00
資料配布	(内閣府 同時発表)	

件名	中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 道の駅「妹子の郷」において実証実験をスタート ～道の駅から観光地域までの移動手段を提供し新たな観光の流れを創出～
----	--

概要	<p align="center">道の駅「妹子の郷」(滋賀県大津市)において、 実証実験を3月16日(土)から開始します。</p> <p>国土交通省では、内閣府SIPの枠組みの中で、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、平成29年度より、実証実験を行っています。</p> <p>このうち、道の駅「妹子の郷」を拠点とした自動運転サービスについては、昨年度フィージビリティスタディを行う箇所として選定され、今回、実証実験を実施することになりました。</p> <p>実証実験は、総合病院への通院、市役所支所への移動などの高齢者の日常生活の支援、貨客混載による道の駅への農産物輸送、また、日本二百名山の一つである武奈ヶ岳等と「道の駅」を結び新たな観光の流れを創出などの実証実験を行うこととしましたので、お知らせします。</p> <p>また、実証実験の開始にあわせて、下記のとおり試乗会を行います。</p> <p>[実験開始にあたっての試乗会]</p> <ol style="list-style-type: none"> 日時 : 平成31年3月16日(土)10時00分から 会場 : 道の駅「妹子の郷」(滋賀県大津市和邇中528番地) 主催 : 道の駅「妹子の郷」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会 概要 : 挨拶、概要説明、試乗 等 <p>※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は、3月8日(金)15時までに、以下まで取材 FAX 申込書をお送りください。 近畿地方整備局滋賀国道事務所 (FAX:077-522-6824 自動運転実証実験担当 宛)</p> <p>※本実験は、内閣府戦略イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システムのプロジェクトの1つとして実施するものです。(https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/)</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、大津市政記者クラブ
------	--

問合せ先	<p>■試乗会及び取材申込について 国土交通省近畿地方整備局 滋賀国道事務所 副所長 石鍋 一文 総括保全対策官 大國 喜郎 電話 : 077-523-1741 (代表)</p> <p>■その他全般について 国土交通省近畿地方整備局 道路部交通対策課 課長 中尾 勝 道路構造保全官 石橋 博孝 電話 : 06-6945-9107 (直通)</p>
------	--

道の駅「妹子の郷」を拠点とした自動運転サービス 実験開始にあたっての試乗会 概要

- 1 日時：平成31年3月16日（土） 10:00～11:30
- 2 場所：道の駅「妹子の郷」
おおつしわになか
（滋賀県大津市和邇中528番地）
- 3 主催：道の駅「妹子の郷」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会
（協議会メンバー：学識経験者、滋賀県、大津市、滋賀県警察、「道の駅」駅長、和邇学区自治連合会長、葛川学区自治連合会長、（一）滋賀県バス協会、（一）滋賀県タクシー協会、（一）滋賀県トラック協会、アイサンテクノロジー（株）、江若交通（株）、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、国土技術政策総合研究所）

4 試乗会行程

受付 9:30～

試乗会 10:00～

(1) 挨拶

(2) 概要説明

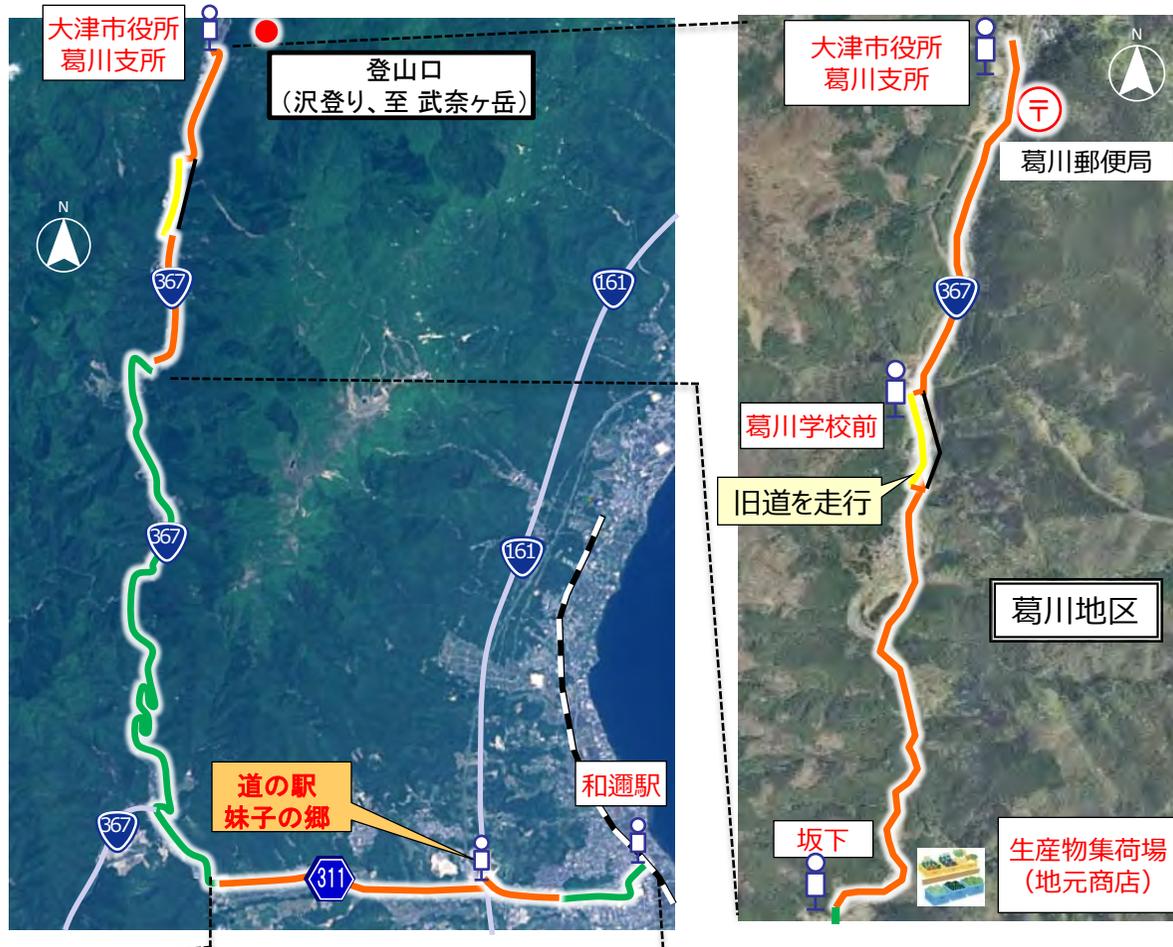
(3) 試乗

終了 11:30頃

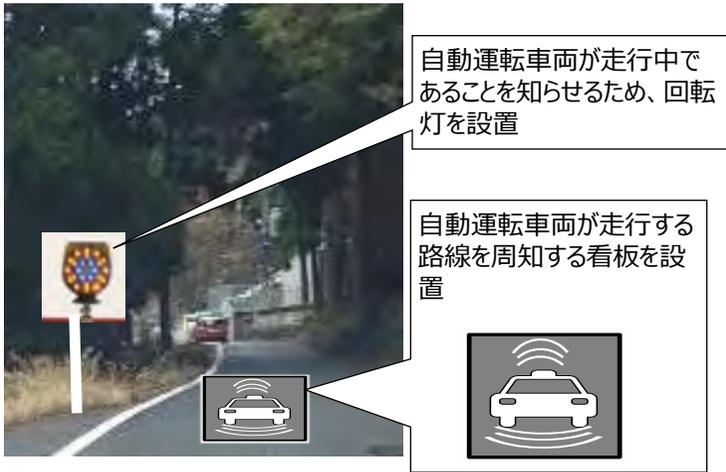
■会場位置図



道の駅「妹子の郷」自動運転実証実験ルート



自動運転車の走行周知の例



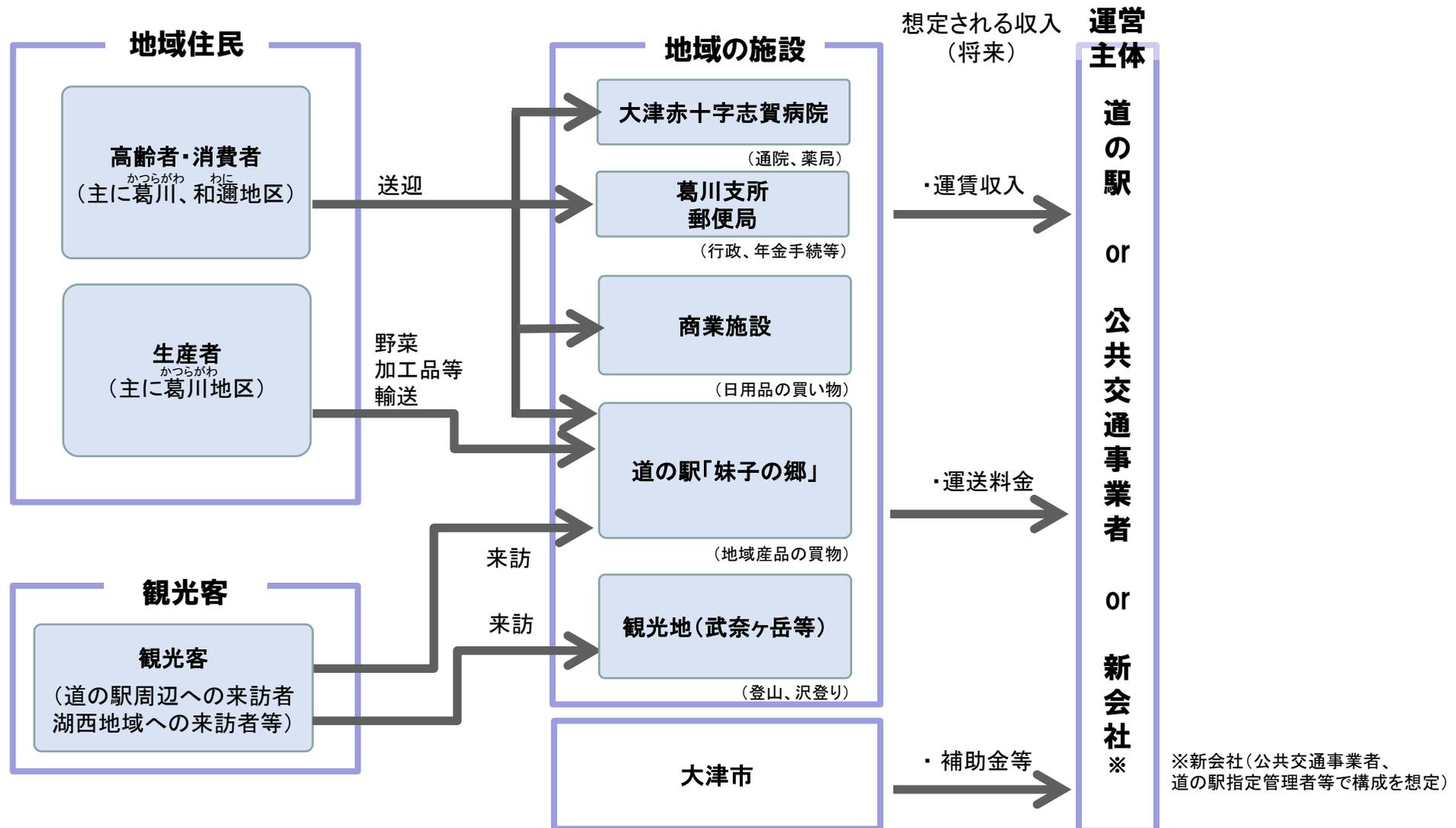
【実験スケジュール】
 ○3/16(土)午後～3/20(水)午前
 ・8:00～17:00
 ※3/16午前、3/20午後は運行なし
 ※運行パターンを日ごとに変えて運行



地図: 地理院地図 (電子国土Web)

自動運転サービスの将来のビジネスモデル(案)(大津市)

- 高齢者等を道の駅「妹子の郷」や大津赤十字志賀病院等へ送迎し、高齢者の日常的な生活の足を支援
- 貨客混載により、道の駅への農産物輸送、道の駅や地元商店からの商品配送で利便性を確保
- 武奈ヶ岳等への登山客や沢登り、キャンプ等の観光需要を取り込み、観光客の移動手段としてサービスを提供



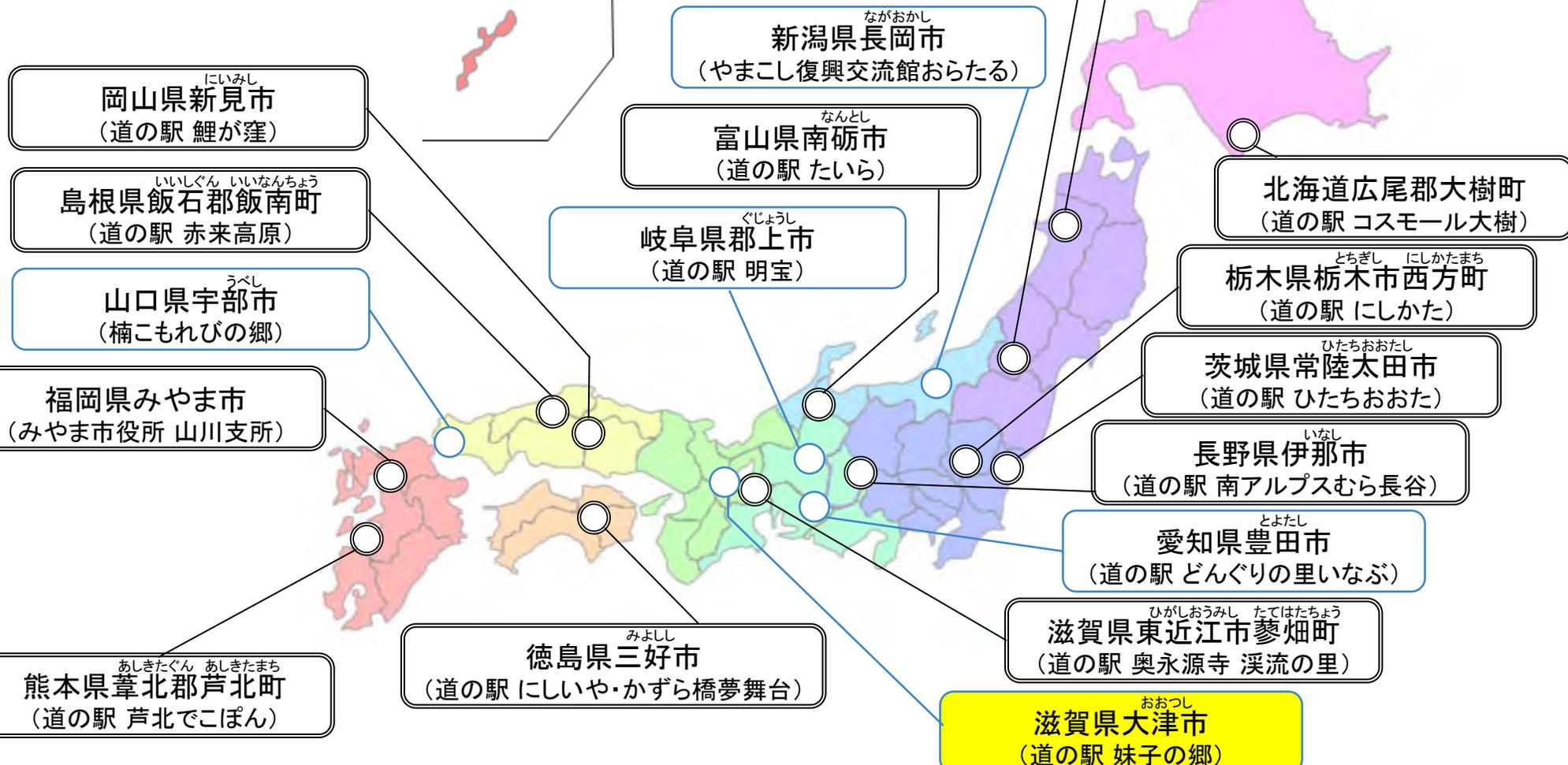
項目	主な検証内容
①道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○相互に円滑な運行のための道路構造の要件 <ul style="list-style-type: none"> ・後続車の追越や対向車の離合を考慮した幅員 ・見通しの悪い交差点、信号なし交差点の通行 ○中山間地域の特性を活かした走行空間の確保方策 <ul style="list-style-type: none"> ・専用の走行空間確保（交通量が少なく他の道路で代替可能な区間） ・自動運転車の走行に関する周知、注意喚起の効果（社会受容性）の検証 ○実験車両と実験事務局間による運行管理 <ul style="list-style-type: none"> ・スマホの位置情報を活用した車両⇔事務局間の運行管理（非常時の対応含む） ・車両オペレータ⇔事務局間の連絡体制確保 ○自動運転に必要となる道路の管理水準 <ul style="list-style-type: none"> ・路肩駐停車車両
②地域環境	<ul style="list-style-type: none"> ○LiDAR（光を用いたレーダー）、カメラ等による障害物検知能力
③コスト	<ul style="list-style-type: none"> ○車両の維持管理コスト
④社会受容性	<ul style="list-style-type: none"> ○輸送サービスの受容性 ○周辺交通への影響、自動運転技術への信頼性
⑤地域への効果 (ビジネスモデルの検討)	<p>＜提供サービスについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光移動サービスの提供 ○道の駅への出荷品（根菜類、加工品等）の商品輸送の実用性 ○高齢者等の利便性の向上、外出機会の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や地元商店での買い物、総合病院（赤十字病院）への通院、役場や郵便局における行政手続き、鉄道駅（和邇駅）との乗り継ぎ等の利用 <p>＜運営体制について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験を踏まえた将来の運営体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の公共交通事業者等の参画可能性の検討 ・地域の方のボランティア参加など地域の協力体制（乗務員、運行オペレータ等） ○事業としての採算性・持続可能性（サービスの実現性） <ul style="list-style-type: none"> ・将来需要（支払意思額）やコスト等の推定 ・地元産品、加工品等の出荷機会の拡大可能性 ・地域の施設からの協賛金を徴収、自治体による補助金なども含めたサービスの提供可能性 ・将来の地域の協力体制

○: 実験実施箇所

[H29年度に短期間の実証
実験を実施した箇所
(13箇所)]

○: FS箇所

[H29年度にフィジビリティスタ
ディを実施した箇所(机上検討)
(5箇所)]



(今回実験箇所: 3/16~3/20)

バスタイプ

①株式会社ディー・エヌ・エー



「車両自律型」技術

〔GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルートを行走（点群データを事前取得）〕

定員： 6人（着席）
（立席含め10名程度）
速度： 10km/h程度
（最大：40km/h）

②先進モビリティ株式会社



「路車連携型」技術

〔GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルートを行走〕

定員： 20人
速度※： 35 km/h 程度
（最大40 km/h）

乗用車タイプ

③ヤマハ発動機株式会社



「路車連携型」技術

〔埋設された電磁誘導線からの磁力を感知して、既定ルートを行走〕

定員： 6人
速度： 自動時 ～12km/h 程度
手動時 20 km/h未満

④アイサンテクノロジー株式会社 **【今回使用】**



「車両自律型」技術

〔事前に作製した高精度3次元地図を用い、LiDAR（光を用いたレーダー）で周囲を検知しながら規定ルートを行走〕

定員： 4人
速度※： 40km/h 程度
（最大50 km/h）

※車種は変更の可能性あり

※速度は走行する道路に応じた制限速度に適合

GPS : Global Positioning System, 全地球測位システム IMU : Inertial Measurement Unit, 慣性計測装置

取材 FAX申込書

取材をして頂ける報道関係者は、本紙で事前登録をお願い致します。また、以下の事項に十分留意していただき、行事の円滑な遂行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◆3月8日（金）15時までに必ず本紙で事前登録をお願いいたします。

◆当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用して頂きますようお願い致します。

◆雨天等により実験車両の試乗走行を行わない場合があります。

近畿地方整備局 滋賀国道事務所 自動運転実証実験担当 宛

FAX番号:077-522-6824

平成31年3月8日（金） 15時締切

貴社名	
ご参加人数	人 (うち試乗希望)
ご担当者氏名	氏 名 所属部署名等
ご連絡先	郵便番号 — 住 所 電話番号 () FAX番号 () E-mail @
車両台数	
車両ナンバー	

※送付状は不要ですので、必要事項を記入のうえ本紙のみをFAXしてください。